

I 各年度報告

Abstract:

Throughout the twentieth century, the production, distribution, and consumption of Japanese kimono underwent tremendous changes as the Japanese nation made efforts to be perceived as modern and international. By focusing on its material form as well as representations of kimono in texts and images both within Japan and beyond its borders, this research group intends to reveal how shifts in the design and use of the physical garment and its representation in multiple media throughout this one-hundred-year span were intimately tied to the Japanese nation's evolving status in a dynamic global setting.

The multi-disciplinary research group comprises four members; two Americans and two Japanese. Terry Milhaupt investigates chronological shifts in kimono design by examining the materials and decorative techniques involved in the production of kimono for domestic and international consumption. Sarah Frederick analyzes representations of kimono in American and Japanese literature and popular media. Keiko Suzuki focuses on kimono made for export, as tourist art, souvenirs for foreigners, and kimono produced and consumed in foreign countries. Rie Mori investigates the experiences and consciousness of those who wear kimono, and considers how the kimono was perceived both within Japan as well as in its colonized territories. As the leader of the group, Mori will integrate the research team's results, and position their findings within the broader scholarly debates of gender, Orientalism, and nationalism.

目 的

日本の「きもの」は 20 世紀に、製作・流通・消費の各段階において、近代化と国際化を達成したと考えられる。これは 19 世紀後半に成立した近代国民国家日本の国際関係の推移を受けたものであり、また、21 世紀である現在の「きもの」文化に連なるものである。本研究は、「きもの」の「モノ」としての物質文化的側面と、テキストやイメージとしての表象文化的側面の双方に着目することにより、20 世紀に「きもの」がいかにかして近代化・国際化を達成したのかを、総合的に明らかにすることを目的とする。

なお研究構成員の分担は次のとおりである。テリ・五月・ミルハプトは 20 世紀の「きもの」の実作品と図案を分析することにより、物質文化としての「きもの」文化を研究する。セーラ・フレデリックは日本と米国の文学作品や大衆メディアにおける「きもの」のテキストとイメージを分析することにより、表象文化としての「きもの」文化の研究を担当する。また鈴木桂子は海外を意識して作られた輸出品・観光芸術・土産品としての「きもの」と、それから派生して海外で生産・消費された「きもの」の象徴的意味を研究する。そして森理恵は「きもの」着用者の体験や意識、植民地と「内地」における「きもの」のありかたを研究するとともに、各構成員の研究結果を踏まえ、ジェンダー、オリエンタリズム、ナショナリズムの諸理論を活用し、「きもの」文化の近代化・国際化を総合的に考察する。

方 法

本研究は以下の方法によりおこなう。

- (1) 日本の国内外に保管されている、20世紀の「きもの」実作品とその図案の調査
- (2) 20世紀の「きもの」が表象されている出版物、映像資料、貿易品等の調査
- (3) 20世紀に「きもの」の製作・流通・販売にたずさわった人々、および、20世紀に「きもの」を着用・消費していた人々へのインタビュー

今年度の活動

- (1) 7月～8月にかけて首都圏において資料収集、情報収集をおこなった。
- (2) 11月に関西地方において資料収集、情報収集をおこない、研究構成員間で相互に研究発表、および討論をおこなった。
- (3) 2月に米国東海岸において資料収集、情報収集をおこない、研究構成員間で相互に研究発表、および討論をおこなった。

結 果

11月と2月の研究発表と討論の結果は次のとおりである。

- (1) "kimono" という語の定義について。これは、日本語で研究の発表をしていく際に、「きもの」をひらがな、カタカナ、漢字、またはローマ字のどれで表記していくか、という決定にも係わる。各々が研究を進めていく過程で、様々な資料が、"kimono" という語をどのように表記しているのか、注意する必要があること、そして、その表記の違いに意味があるのか、それともそうでなく、書き手のスタイルにより様々に変わるもので、それほど意味のないものなのか、を見極める必要があることが確認された。いろいろな意味と書かれた形式の歴史的な変遷をみることができるであろうし、"kimono" という語がどのように使われたのか、ある特殊な文脈においてどういったことを意味するのか、また、そういった意味とその表記の間の関係の有無については、これから留意すべきである。
- (2) 全員の共通した見解として、「きもの」を、西洋対東洋という2元論的な議論を越えたものとしてとらえること、「きもの」文化をグローバルなコンテクストに置いて考えていくこと、の2点を確認された。
- (3) テリ・五月・ミルハプトは、「「きもの」の製造または偽造」をテーマに、20世紀における「きもの」の消費と機能の変化が、同時代の「きもの」に関連した様々な価値観（歴史的、経済的、材料的、文化的、機能的）の変化と、どのように関係しているかを研究している。特に、「きもの」生産者や販売者としての、百貨店（三越）、商社（丸紅、千総）、地方産業（銘仙、久留米緋）に焦点を当てて調査中であり、これらの製造者が、どのような市場をターゲットとしていたかを考察中である。
- (4) セーラ・フレデリックは、「イメージとテキストにおける「きもの」と洋服」をテーマに、「きもの」着用の姿が、服装のジェンダー差との関連でどのように表現されてきたかを研究中である。たとえば、少女雑誌の連載小説や挿絵において、「きもの」は、20世紀日本の少女たちにとってはエキゾチックで空想的なものであり、必ずしも伝統的なものではない。そうした雑誌において、「きもの」は、中国服や洋服と変わるところはないのである。また、同時期の北米における「きもの」イメージについても調査・研究を進めている。
- (5) 鈴木桂子は、「「きもの」文化の輸出」をテーマとして、ビジネスや観光で日本にやってきた外国人が、どのように「きもの」を表象したか、また、日本人が、外国人向けの観光芸術品の中に、自文化として「きもの」文化をどのように認識し、使用しているか、を視覚文化・物質文化の調査を通して調べている。日本の

イメージが、中国・韓国・その他のアジアの国のそれと混ざり合っている状況にも目を向け、日本が、「きもの」文化において、セルフ・オリエンタライジングと同時に、日本化・西洋化をしてきた可能性について考察中である。

(6) 森理恵は「「きもの」のナショナリズム、コロニアリズム、グローバリズム」をテーマとして、植民地における「きもの」文化の受容／非受容／反発の様相について調査すると同時に、戦時下の「内地」と占領下の日本における「きもの」文化の変容についても調査を進行中である。現在のところ、植民地において、支配者側からも被支配者側からも、「支配者日本」の象徴として、「きもの」が表象されていること、そのような「きもの」の象徴性が占領下において複雑な変容を迫られている様子が確認できており、ひきつづき考察を進めていく予定である。

(7) 以上を総合し、来年度の目標として、共同調査や討論だけでなく、国際学会でのグループ発表を計画する。

文 献

1. 横林結、森理恵:「洋裁・洋装の普及と「和服」－1950年台にける「直線裁ち」の意味－」, *京都府立大学学術報告生命環境学*, No.61, pp.9-17 (2009)
2. 東朋美、森理恵:「日常的着物着用者(女性)の着物着用実践のありかたと着物に対する意識」, *京都府立大学学術報告生命環境学*, No.60, pp.1-19 (2008)
3. 森理恵:「「キモノ」の洋装化と民族衣装「キモノ」の成立」, *武庫川女子大学関西文化研究叢書*, No.7, pp.96-122 (2008)
4. 森理恵:「キモノの女性化、ファッション化と民族衣装化」, *愛媛県歴史文化博物館展覧会図録『ときめくファッション～小町娘からモダンガールまで～』*, pp.114-119 (2006)
5. 森理恵:「「キモノ美人」成立過程についての研究－「日本美術史(染織史)」の形成と日本画、和装界の動向－」, *イメージ&ジェンダー*, No.3, pp.76-95 (2002)
6. Terry Satsuki Milhaupt: “In the Guise of Tradition: Serizawa Keisuke and his Eclectic Designs,” in *Serizawa: Master of Japanese Textile Design*, edited by Joe Earle. New Haven: Yale University Press and the Japan Society, (2009).
7. Terry Satsuki Milhaupt: “Facets of the Kimono: Reflections of Japan’s Modernity (Facetten des Kimono im Spiegel der Moderne),” in *Arts of Japan: The John C. Weber Collection*, edited by Melanie Trede with Julia Meech. Berlin: Museum of East Asian Art, National Museums Berlin, (2006).
8. Terry Satsuki Milhaupt: “Second Hand Silk Kimono Migrating Across Borders,” in *Old Clothes, New Looks: Second Hand Fashion*, edited by Hazel Clark and Alexandra Palmer, Oxford and New York: Berg Publishers, (2005).
9. Sarah Frederick: *Turning Pages: Reading and Writing Women's Magazines in Interwar Japan*. Honolulu: University of Hawai'i Press, (2006).
10. Keiko Suzuki: “The Making of Tōjin: Construction of the Other in Early Modern Japan.” *Asian Folklore Studies*, No.66, pp.83-105, (2007).
11. Keiko Suzuki: *The Tale of Tōjin: Visualizing Others in Japanese Popular Art from Edo to Early Meiji*. UMI (ProQuest), (2007).

Abstract:

Throughout the twentieth century, the production, distribution, and consumption of Japanese kimono underwent tremendous changes as the Japanese nation made efforts to be perceived as modern and international. By focusing on its material form as well as representations of kimono in texts and images both within Japan and beyond its borders, this research group intends to reveal how shifts in the design and use of the physical garment and its representation in multiple media throughout this one-hundred-year span were intimately tied to the Japanese nation's evolving status in a dynamic global setting.

During the last two years, our research group traveled to major museums, libraries, and private collections in Japan, the United States, and England in order to document changes in the conceptualization and symbolic meaning of "kimono" throughout the twentieth century. By looking beyond Japan's borders, we discovered that the exportation of kimono to Europe, England, America, and countries in Asia resulted in the creation of diverse new forms and a variety of techniques and designs. A few representative examples include: a gusset inserted at the side seams of the kimono to create a wider flare around the hem area, the development of embroidery techniques to suit Western tastes, as well as the recognition that certain motifs, fabrics, and color palettes were highly marketable outside of Japan. These developments are revealed by close examination not only of actual kimono-shaped garments, but also through various media, including movies, magazines, and post cards. In reaction to kimono consumption patterns abroad and within Japan, domestic production and consumption patterns also shifted.

The modernization and globalization of kimono culture in the twentieth century, in form, material, and design, was far more dynamic than previously assumed. During the final year of our project, our research group intends to focus on what these changes in the production, consumption, and reception of kimono culture reveal about Japan's role in the wider world. We intend to present our preliminary findings at an international symposium at the University of Alberta's Institute of Material Culture in May 2011.

目 的

日本の「きもの」は 20 世紀に、製作・流通・消費の各段階において、近代化と国際化を達成したと考えられる。これは 19 世紀後半に成立した近代国民国家日本の国際関係の推移を受けたものであり、また、21 世紀である現在の「きもの」文化に連なるものである。本研究は、「きもの」の「モノ」としての物質文化的側面と、テキストやイメージとしての表象文化的側面の双方に着目することにより、20 世紀に「きもの」がいかにして近代化・国際化を達成したのかを、総合的に明らかにすることを目的とする。

なお研究構成員の分担は次のとおりである。テリ・五月・ミルハプトは 20 世紀の「きもの」の実作品と図案を分析することにより、物質文化としての「きもの」文化を研究する。セーラ・フレデリックは日本と米国の文学作品や大衆メディアにおける「きもの」のテキストとイメージを分析することにより、表象文化としての「きもの」文化の研究を担当する。また鈴木桂子は海外を意識して作られた輸出品・観光芸術・土産品とし

ての「きもの」と、それから派生して海外で生産・消費された「きもの」の象徴的意味を研究する。そして森理恵は「きもの」着用者の体験や意識、植民地と「内地」における「きもの」のありかたを研究するとともに、各構成員の研究結果を踏まえ、ジェンダー、オリエンタリズム、ナショナリズムの諸理論を活用し、「きもの」文化の近代化・国際化を総合的に考察する。

結 果

昨年度と今年度におこなった調査結果一覧を以下に示す。

(1) 個人収集家(大阪)2009年11月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
個人収集家			絵葉書約100点	ca. 1900-1950	日本	紙	国際観光や百貨店の宣伝、美人プロマイド等
個人収集家			『画報近代百年史』	1951	日本	雑誌	
個人収集家			『近世三百年史』	1953	日本	雑誌	
個人収集家			『画報風俗史』	1957	日本	雑誌	
個人収集家			百貨店社史・関係図録・資料	昭和	日本	書籍	
個人収集家			『布のいのち』	2004	日本	書籍	堀切辰一著
個人収集家			かすりサンプル	戦前	日本	木綿	近代的デザイン(汽車、軍艦、パラソル、アルファベット、人力車、「大日本帝国萬歳」等)、お城緋、
個人収集家			銘仙サンプル		日本	絹	
個人収集家			きもの・羽織裏		日本		戦争柄(三国同盟、ナチス、戦車、軍艦など)・近代的デザイン(早慶戦、フットボールなど)

(2) お茶の水図書館・京都府立図書館・早稲田大学演劇博物館 2010年5月～6月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
Ochanomizu Library		276	Shukujo-gaho' magazine	1912-1923	Japan	paper	「淑女画報」博文館
Ochanomizu Library		609	婦人倶楽部	1928-50	Japan	paper	
Ochanomizu Library		284	Shufu no tomo magazine	1933-1937	Japan	paper	Manchukuo versions 満洲版
Ochanomizu Library		390	Sutairu Magazine	1936-1941	Japan	paper	Sutairu sha
Kyoto Prefectural Library	stack5	593	Kimono tokuhon' magazines	1951-1959	Japan	paper	「きもの読本 スタイル」スタイル社
Wasdeda, Engeki Library			Yoshiya Nobuko adaptation Scenarios	1930-1940	Japan	paper	

(3) ボストン美術館 2010年2月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
mfa	textile and fashion arts	2009.244	kimono	late 20c.	Japan	silk katazome	"Mountain Vegetables" Kimono created by the artist Soeda Toshiko, Tokyo 添田敏子
mfa	textile and fashion arts	2005.587	kimono	mid-20c.	Japan	silk yuzen embroidery	peony
mfa	textile and fashion arts	1984.556	kimono	1980s	Japan	silk stencil	created by Kumagai Kohakushi 熊谷好博子作
mfa	textile and fashion arts	11.3836	uchikake	late 19c.-early	Japan	silk lampas	
mfa	textile and fashion arts	21.1129	uchikake	late 19c.-early	Japan	silk yuzen	Genji-e
mfa	textile and fashion arts	24.86	uchikake	19c.	Japan	silk embroidery	crysanthemum
mfa	textile and fashion arts	11.382		late 19c.	Japan	silk yuzen	cranes
mfa	textile and fashion arts	11.3816	furisode	19c.	Japan	silk embroidery	narcissus
mfa	textile and fashion arts	11.3835	furisode	19c.	Japan	silk embroidery	pine tree, bamaoo
mfa	textile and fashion arts	11.3881	uchikake	19c.	Japan	silk embroidery	blossoming plum
mfa	textile and fashion arts	2003.332	furisode	early 20c.	Japan	silk yuzen embroidery	fans, waves
mfa	textile and fashion arts		kimono	1930s	Japan	silk meisen	palm leaves
mfa	textile and fashion arts	2008.34	juban	about 1936	Japan	rayon	fighter planes, a child soldier, etc.
mfa	textile and fashion arts	2008.336	juban	about 1934	Japan	rayon	Koamikochi Imperial Hotel, Nakajima Fokker Super Universal plane and the cruise ship Asama
mfa	Japanese		prints	19-20c.	Japan	paper	nishiki-e illustration for "Demon Gold", etc.
mfa	Japanese		postcards	19-20c.		paper	

(4) ブルックリン美術館 2010年2月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
Brooklyn	Asian Art	34.1255	woman's robe or kimono	19-20c.	Japan	silk	exported?
Brooklyn	Asian Art	66.166.4	furisode	19c.	Japan	silk embroidery	goshodoki
Brooklyn	Asian Art	67.97.5	woman's robe or kimono	20c.	Japan	cotton	exported
Brooklyn	Asian Art	56.58.6	juban	20c.	Japan	silk	sleeveless, printed neckband
Brooklyn	Asian Art	67.97.4	tomesode	20c.	Japan	silk(ro) yuzen	large maple leaves
Brooklyn	Asian Art	34.1282	kimono	19c.	Japan	silk embroidery	tea bawl, etc.
Brooklyn	Asian Art	59.220.4	kimono	20c.	Japan	silk	black and gold stripe
Brooklyn	Asian Art	40.153b	nagajuban	20c.	Japan	silk	for young girls
Brooklyn	Asian Art	40.153a	nagajuban	20c.	Japan	silk	for young girls
Brooklyn	Asian Art	34.1252	kimono	19c.	Japan	silk brocade	
Brooklyn	Asian Art	67.251	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen) shibori	for young girls or dolls
Brooklyn	Asian Art	34.126	katabira	19c.	Japan	bast	wisteria
Brooklyn	Asian Art	34.1274	kimono	19c.	Japan	silk yuzen	tsuma-moyo
Brooklyn	Costume and textiles	63.223.141	irotomesode	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	daimyo-gyoretsu
Brooklyn	Costume and textiles	57.113.3	woman's robe or kimono	19c.	Japan	silk embroidery	exported iris
Brooklyn	Costume and textiles	67.263.35	bathrobe	19-20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	exported chrysanthemum
Brooklyn	Costume and textiles	57.113.2	kimono	19-20c.	Japan	silk yuzen	exported lion crest
Brooklyn	Asian Art	18.12	kimono	19c.	Japan	silk yuzen	hitotsu-mi for children
Brooklyn	Asian Art	18.13	kimono	19c.	Japan	silk yuzen	hitotsu-mi for children
Brooklyn	Asian Art	TL2006.37	wedding kimono	mid-late 20c.	Japan	silk	white and silver damask
Brooklyn	Asian Art	TL1986.410.3	women's dress	mid 20c.	Okinawa	bast(basho-fu)	gift by Dr. Lyden who lived in occupied Okinawa
Brooklyn	Asian Art	TL1986.410.4	katabira	19c.	Japan	bast	yotsu-mi for children gift by Dr. Lyden who lived in occupied Okinawa
Brooklyn	Asian Art	TL1986.410.2	okinawan dress(ryuso)	20c.	Okinawa	bast(basho-fu)	gift by Dr. Lyden who lived in occupied Okinawa
Brooklyn	Asian Art	34.13.99	kimono	19-20c.	Japan	bast kasuri	
Brooklyn	Asian Art	TL1984.124.1	furisode	19c.	Japan	bast kasuri	for young girls
Brooklyn	Asian Art	67.97.3	furisode	20c.	Japan	silk yuzen	cranes, etc.
Brooklyn	Asian Art	67.97.1	furisode	20c.	Japan	silk(chirimen) embroidery	shippo
Brooklyn	Asian Art	1993.194.8	kimono	19c.	Japan	bast kasuri	
Brooklyn	Asian Art	84.139.5	chanchanko	19c.	Japan	cotton	
Brooklyn	Asian Art		yamabakama	19c.	Japan	cotton	
Brooklyn	Costume and textiles	28.465	miniature kimono	20c.	Japan	silk	"Japanese objects and one of 50 dolls sent by the children of Japan to the children of America in 1928"

(5) メトロポリタン美術館 2010年2月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
met	Asian art-textiles	2007.44.1	kimono	1942	Japan	silk(chirimen), yuzen	birds in flight
met	Asian art-textiles	29.100.540	panel	19c.	Japan	silk velvet	cock under banana tree
met	Asian art-textiles	1998.487.2a	irotomesode	20c.	Japan	silk(chirimen), yuzen	chrysanthemum
met	Asian art-textiles	1998.487.2b	aigi	20c.	Japan	silk(chirimen), yuzen	
met	Asian art-textiles	1998.487.1a	tomesode	20c.	Japan	silk(chirimen), yuzen	cranes
met	Asian art-textiles	1998.487.1b	aigi	20c.	Japan	silk(chirimen), yuzen	
met	Asian art-textiles	2001.428.51	furisode	19-20c.	Japan	silk satin	hydrangeas
met	Asian art-textiles	37.92.10	uchikake	19c.	Japan	silk	paulownia
met	Asian art-textiles	62.18	uchikake	20c.	Japan	silk(rinzu) embroidery	maple tree and river
met	Asian art-textiles	2007.44.2	nagajuban	early 20c.	Japan	silk yuzen	military scene
met	Asian art-textiles	63.11	woman's overcoat	late 19c.	Japan?	silk, metallic thread embroidery	for thr western market

(6) フィラデルフィア美術館 2010年3月

museum	dept.	no.	title	date	place made	medium	note
PMA	Costume	1941-102-5	Kimono	late 19th century	Japan?	silk,	
PMA	Costume	1995-106-2	Kimono	late 1950s	Japan	silk	
PMA	Costume	1955-107-10	Kimono	late 19th century	Japan	silk	
PMA	Costume	1974-1-1a-d	Kimono made by Chiso	1940s	Japan	silk	
PMA	Costume	1973-227-12a,b	Kimono and sash	1920s	export?	silk	
PMA	Costume	1972-117-1a,b	Kimono and sash	1920s	?	silk	
PMA	Costume	1921-5.2	Kimono	early 20th century	Japan?	silk	
PMA	Costume	1978-2-1a,b	Dress	late 19th century	France	silk	Worn by Mrs. Ernest Fenollosa
PMA	Costume	1978-2-2a,b	Dress	late 19th century	Japan?	silk	Worn by Mrs. Ernest Fenollosa; Database lists American as Artist/Maker
PMA	Costume	1961-40-1a-d	"Kimono" coat dress by Bonnie Cashin	1960	America	wool	

(7) 個人収集家(シカゴ) 2010年9月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
Private			Chigusa	1899	Japan	paper	
Private			Mokuhan Genji monogatari		Japan	paper	
Private			obi designs	20th century	Japan	paper	
Private			Shin kamon cho	1934	Japan	paper	
Private			Hanagasane	1898	Japan	paper	
Private			Shin zuan	1897	Japan	paper	
Private			Sei ei	various	Japan	paper	
Private			Genroku furyu Meiji buri	1905	Japan	paper	
Private			Tennen moyo kagami	1899	Japan	paper	
Private			Matsu zukushi	1905	Japan	paper	
Private			Keika zuan	1897	Japan	paper	
Private			Ukiyoe kosode	1936	Japan	paper	
Private			Kamon fu	1900	Japan	paper	
Private			Nishiki kata	1902	Japan	paper	
Private			Yachiyo gusa	1902	Japan	paper	
Private			Kimono	1930s	Japan	silk	
Private			Child's kimono	Meiji	Japan	silk	

(8) 個人収集家ほか(東京・横浜) 2010年10月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
個人収集家			ヴィンテージ・スカジャン約10着	20c.	日本	レーヨン・綿・ファスナー	ヴィンテージ物で、戦後直後から朝鮮戦争期のものが中心。
個人収集家			ヴィンテージ・アロハシャツ・シャツ地	20c.	米国ハワイ州	壁縮緬、レーヨン	シャツ地は日本・米国本土から輸入
シルク博物館							常設展と特別展(第21回全国染織作品展)を見学
横浜開港資料館							常設展と特別展(横浜山手 コスモポリタンたちの1世紀)を見学、閲覧室で文献調査

(9) 文化ファッションリソースセンターほか(東京、大阪) 2010年10月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
Bunka Fashion Resource Center			Mosurin samples/mihon cho	various	Japan	wool	16 volumes. Gujo Rei collection
Tokyo National Museum	Textiles		Kimono	late Edo	Japan	silk	
Tokyo National Museum	Textiles		Kimono	early 20th century	Japan	silk	
Tokyo National Museum	Textiles		Kimono	early 20th century	Japan	silk	
Marubeni			10 kosode/kimono	late Edo - early Showa	Japan	silk	
Osaka Toshokan, Nakanoshima			Jiko	late 19th - early 20th century	Japan	paper	
Takashimaya Shiryokan			Meisaku shin hinagata	1936	Japan	paper	
Takashimaya Shiryokan			Hyakusenkai	1930s	Japan	paper	
Takashimaya Shiryokan			Kindai suso moyo	1978	Japan	paper	
Takashimaya Shiryokan			Jobonkai	1950s	Japan	paper	

(10) 国立歴史民俗博物館 2010年10月

museum	collection	no.	title	date	place made	medium	note
rekihaku	Kurata-ke	1	furisode	20c.	Japan	silk(rinzu) embroidery	
rekihaku	Kurata-ke	2	kimono	20c.	Japan	silk(rinzu) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	3	kimono	20c.	Japan	silk(ro) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	4	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	5	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	6	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	7	kimono	20c.	Japan	silk(ro) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	8	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	9	kimono	20c.	Japan	silk(monchirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	10	kimono	20c.	Japan	silk kinran	
rekihaku	Kurata-ke	11	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	12	kimono	20c.	Japan	silk(tsumugi)	
rekihaku	Kurata-ke	13	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen) hittashibori	
rekihaku	Kurata-ke	14	kimono	20c.	Japan	silk(donsu)	
rekihaku	Kurata-ke	15	kimono	20c.	Japan	silk	
rekihaku	Kurata-ke	16	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	17	kimono	20c.	Japan	cotton	

museum	collection	no.	title	date	place made	medium	note
rekihaku	Kurata-ke	18	kimono	20c.	Japan	cotton	
rekihaku	Kurata-ke	19	kimono	20c.	Japan	silk(chirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	20	hitoe	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	21	hitoe	20c.	Japan	silk yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	22	hitoe	20c.	Japan	silk kakie	
rekihaku	Kurata-ke	23	hitoe	20c.	Japan	silk(rochirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	24	hitoe	20c.	Japan	silk(rinzu)	
rekihaku	Kurata-ke	25	hitoe	20c.	Japan	silk(chirimen) yuzen	
rekihaku	Kurata-ke	26	hitoe	20c.	Japan	silk(ro) kasuri	
rekihaku	Kurata-ke	27	hitoe	20c.	Japan	silk(habutae)	
rekihaku	Kurata-ke	28	hitoe	20c.	Japan	silk(ro)	
rekihaku	Kurata-ke	29	hitoe	20c.	Japan	silk(rochirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	31	hitoe	20c.	Japan	silk	
rekihaku	Kurata-ke	36	hitoe	20c.	Japan	silk(tsumugi)	
rekihaku	Kurata-ke	38	katabira	20c.	Japan	bast kasuri	
rekihaku	Kurata-ke	44	furisode	20c.	Japan	silk(chirimen) embroidery	
rekihaku	Kurata-ke	45	furisode	20c.	Japan	silk(meisen)	
rekihaku	Kurata-ke	46	haori	20c.	Japan	silk(monchirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	51	haori	20c.	Japan	cotton lace	
rekihaku	Kurata-ke	52	hifu	20c.	Japan	silk_uneori	
rekihaku	Kurata-ke	54	hifu	20c.	Japan	silk(rochirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	55	hifu	20c.	Japan	silk(donsu)	rain coat
rekihaku	Kurata-ke	59	melton_coat	20c.	Japan	wool	
rekihaku	Kurata-ke	61	nagajuban	20c.	Japan	silk(chirimen)	
rekihaku	Kurata-ke	63	nagajuban	20c.	Japan	silk(rinzui)	
rekihaku	Kurata-ke	70	maruobi	20c.	Japan	silk embroidery	

(11) ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館 2011年1月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
V&A	Costume	176.1967	Kimono gown	late 19th century	Japan?	silk	westernised embroidery
V&A	Costume	14.1 to .11.2004	Yukata samples	2002	Japan, China,	cotton	given by Kawashima co.ltd
V&A	Costume	141.1957	Panel	1902	England	silk	by Cristopher Dresser
V&A	FE	2.2005	Juban	ca.1937	Japan	wool	Kamikaze-go flight to London
V&A	FE	138.2002	Furisode	1934	Japan	silk	Sachiko Shimojima's wedding kimono
V&A	FE	149.2002	Furisode	c.1980	Japan?	silk/polyester?	given by Moe co.ltd
V&A	FE	145.2002	Kimono	1920-1950?	Japan	silk(meisen)	
V&A	FE	72.1957	Costume	1850-1880	Japan	silk	theatrical costume?
V&A	FE	5A.1911	Hanging	1910	Japan	silk	westernised embroidery, exhibited in Sanfrancisco expo.
V&A	FE	119.1963	Panel	1915	Japan	silk	westernised embroidery, exhibited in Japan British expo.
V&A	FE	17.1997	Sample book	1966-68	Japan	paper, etc.	着尺染出見本布綴り
V&A	FE	17.1997	Sample book	1950-2000	Japan	paper, etc.	丘の宴 帝人
V&A	FE	17.1997	Sample book	1938	Japan	paper, etc.	第42回春の真美展出品図録
V&A	FE	17.1997	Sample book	1938	Japan	paper, etc.	昭和十三年度春物配色 大嘉商店着尺部
V&A	FE	FE.420.1992	Kimono	1973	Japan	silk(tsumugi)	by Moriguchi Kunihiko 森口邦彦「青海波」
V&A	FE	FE.144.2006	Kimono	2004-2006	Japan	silk	by Tsuchiya Yoshinori 土屋順紀「青山緑水」
V&A	Galleries		Flight	1990	Japan		by Matsubara Yoshichi
V&A	Galleries		Myriad Green Leaves				by Furusawa Machiko

(12) 英国ミドルセックス大学ドメスティックデザイン博物館 2011年1月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
moda		SM137	pattern book	1881	Japan	paper	Tanaka Kikuo, 'Irohabiki-moncyo' 田中菊雄「いろは引紋帳」
moda		SM138	pattern book	1884	Japan	paper	Takizawa Kiyoshi, 'Karakusamoyo-hinagata' 瀧沢きよし「唐草模様ひな形」
moda		SM217	catalogue		Japan	paper	Iwao Kongow, 'The costume of no play in Japan,' Meiji Shobo「能楽花かがみ」
moda		SM193	catalogue	1925	France	paper	P. M. Lambert 'Pochoirs Japonais,' Paris
moda			magazines	1880s	GB	paper	'Artistic Japan'
moda			book	1968	Japan	paper	Ministry of Foreign Affairs 'Japan in Transition: one hundred years of modernization'
moda			wall papers	1930s	GB	paper	japonism, chinoisie, designed by silver studio
moda		SM187	book	1892	Japan	paper	Ogawa Kinbe 'Lilies of Japan'
moda		SM188	book	1893	Japan	paper	Ogawa Kinbe 'Chrysanthemums of Japan'
moda		SM189	book	1895	Japan	paper	Ogawa Kinbe 'Some flowers of Japan'
moda			pattern papers	18-19c.	Japan	paper	many sheets of Ise katagami

(13)大英博物館 2011年1月

museum	dep.	no.	title	date	place made	medium	note
bm	Japan	1987.1005.35	juban	1900-1950	Japan	silk(chirimen)	
bm	Japan	1987.1005.6	juban	1900-1950	Japan	cotton, tie-die	
bm	Japan	1987.1005.25	kimono	1900-1950	Japan	meisen	
bm	Japan	1988.1004.2	juban	20c.	Japan	silk, etc.	
bm	Japan	1988.1004.19	haori	20	Japan	silk	
bm	Japan	1987.1005.22	kimono	1900-1950	Japan	silk(rinzu),	
bm	Japan	1987.1005.24	kimono	1900-1950	Japan	bast	
bm	Japan	1987.1005.12	juban	1900-1950	Japan	silk(chirimen)	
bm	Japan	1988.0805.6	juban	1950-2000	Japan	silk(rinzu)	
bm	Japan	1990.11-6.1	homongi	c.1990	Japan	silk(habutae), yuzen	
bm	Japan	1981.0812.4	kimono	Meiji	Japan	silk(tsumugi?)	matsuba-komon
bm	Japan	1988.1004.17	kimono	Taisho	Japan	silk(chirimen)	nami-ni-chidori
bm	Japan	1991.0302.1	kimono	1950-2000	Japan	silk	Kumagai Kohakushi 熊谷好博子
bm	Japan	1991.0302.2	kimono	1950-2000	Japan	silk	Kumagai Kohakushi 熊谷好博子
bm	Japan	1981.07.31.01	print	1922	Japan	paper	Ito Shinsui 伊東深水「初夏」
bm	Japan	1994.12.17.01(3)	print	1946	Japan	paper	Saito Kiyoshi, Ginza view
bm	Japan	1987.7.10.0203	print	1850-1900	Japan	paper	
bm	Japan	SJ72	pattern book	1908	Japan	paper	Furuya Korin, <i>Ashidemoyo</i> 古谷紅麟「あしてもやう」芸艸堂
bm	Japan	SJ93	pattern book	1906	Japan	paper	Shimomura Gyokko, <i>Genjiburi</i> 下村玉廣「源氏振」 本田雲錦堂
bm	Japan	JIB882	pattern book	1903	Japan	paper	「口乃薫」本田雲錦堂
bm	Japan	JIB620	pattern book	1897-1898	Japan	paper	Hasegawa Keika, <i>Kyokazuan</i> 長谷川契華「京華図 按」芸艸堂
bm	Japan		juban	1937	Japan	silk	battle report print
bm	Japan		pattern book	early Meiji	Japan	paper	<i>Tekagami Moyo Setsuyo</i> 手鑑模様節用
bm	print room	1949.0411.1093	print	1909	GB	paper	Miss Stephen' portrait of Virginia Woolf wearing kimono over a dress
bm	Japan		prints	1900-1950	Japan	paper	Ito Shinsui 伊東深水

考察とまとめ

2年間にわたる調査により、日本の「きもの」は20世紀のあいだに多様な展開と変化を遂げていることが明らかになった。20世紀の西洋やアジアにおける流通をとおして、「きもの」は、形態、技法、意匠のそれぞれの面において、多様性を獲得した。たとえば、裾にかけて広がるように襦を入れるといった形態の工夫、西洋風刺繍のような技法の開発、そして、受容される地域に合わせた色と模様の考案である。さらに、このように多様に展開した「きもの」は、映画や雑誌などのメディア上に表現され、イメージとしても流通したことが確認できた。海外におけるこのような「きもの」文化の影響により、国内の「きもの」文化もまた、同時に近代化・国際化し、変容していった。

20世紀における「きもの」文化は、従来考えられていたより、はるかに多様な物質性と表象性を持っていたのである。最終年度の2011年度においては、これら多様な20世紀の「きもの」文化が、国際関係においてどのような意味を持ったのかを明らかにする予定である。また成果の一部を、2011年5月に開かれるアルバータ大学物質文化研究所の国際シンポジウムにおいて発表する予定である。

文 献(2010年度)

1. Terry Satsuki Milhaupt: "From Everyday to Extraordinary: Children's Kimono, Past and Present," in *Kinderkimonos, Kimonos d'Enfants, Children's Kimonos: Nakano Kazuko Collection*. Luxembourg: Imprimerie Centrale, SA, (2010).
2. 森理恵:「日本植民地期の朝鮮における「きもの」のイメージ—文学・映画などを資料として—」, *国際服飾学会誌*, No.38, pp.21-32 (2010)

Abstract : During the last three years, our research group visited museums, libraries, and private collections located in England, America, and Japan, in order to uncover as much material as possible on our respective, proposed topics. As an internationally-based research group (Kyoto, Tokyo, Boston, and New York) we have been in regular contact, exchanging ideas and opinions among the group, and with other scholars throughout the duration of our grant. At this stage of our research, we offer the following observations, which should be viewed not as our final statement, but ideally as a research-in-progress report, since our topic is a relatively new area of exploration for cultural historians, anthropologists, art historians, and literary historians.

1. Both the meaning of the word “kimono” and the actual garment as it was produced, marketed, and consumed within Japan, vis-à-vis the West, and within the larger Asian region shifted throughout the twentieth century. An array of new forms, techniques, and kimono designs appeared to meet specific consumer demands. Some of the representative examples of changes in kimono for export include: additional panels inserted at the side seams to increase the skirt’s flare; new embroidery techniques inspired by Western techniques; and colors and motifs geared to the consumers’ taste, whether Japanese or foreign. One of our researches extended her study of export kimono to include other Japanese-textile-related products as souvenirs, such as aloha shirts and suka-jan, and regarded their consumer groups (Japanese emigrants to Hawaii and American soldiers in Hawaii and Occupied Japan) as active agents in the construction of a new understanding of these textile products and their meaning in relation to Japan.
2. In addition to viewing kimono simply as garments, our research suggests that a broader approach to the study of kimono reveals that kimono came to be viewed as symbols of Japan. In the United States, England, and Europe, the kimono today is displayed in museums, representative of the genius of Japanese craftsmanship, and is valued more as “art” than as “clothing”. Research on media portrayals of kimono, such as film and magazines that circulated around the world, are filled with images or descriptions of kimono. At certain moments in time, particularly during the Taishô era, the kimono was perceived to be a “modernist” garment both in Japan and in the West, while at the same time it was viewed as a symbol of Japanese clothing within Japan’s colonies in Asia. The kimono is freighted with political and symbolic meaning that extends far beyond Japan’s shores. The dynamic interplay of these multiple perspectives should be considered synchronically, as well as diachronically.
3. One of our research group’s aims was to consider new theoretical approaches in order to

contextualize the function and meaning of kimono, not simply in terms of Orientalism, which has previously been considered, but by evaluating what the kimono means when viewed through other lenses, such as cosmopolitanism and colonialism. Depending on when (the Interwar period, WWII, or Occupied Japan), where (Japan, Asia, or Western countries), and a person's class and gender, the kimono's meanings continually shift.

4. When viewed from the perspective of an object of material culture, the kimono has been produced and consumed not only in Japan but all over the world, thus moving beyond Japan's borders (or un-Japanization). Today, global yukata designed by a British firm, manufactured by a Japanese company, and sewn in China, document how transnational the kimono has become. Ironically, despite the fact that kimono's function and meaning was subjected to multiple changes during the twentieth century, more and more people today identify the kimono as a symbol of Japanese tradition.

要 旨

3年間にわたる、国内外の美術館博物館、図書館、個人収集先での調査と、共同研究員相互のディスカッション、外部研究者との意見交換により、次のことが明らかになった。

- (1) 20世紀の西洋やアジアにおける生産・流通・消費をとおして、物質としての「きもの」は、形態、技法、意匠のそれぞれの面において、多様性を獲得した。たとえば、裾にかけて広がるように襦を入れるといった形態の工夫、西洋風刺繍のような技法の開発、そして、受容される地域に合わせた色と模様のカンセツである。アロハやスカジャンといった衣文化も「きもの」の受容の一局面である。
- (2) さらに、このように多様に展開した「きもの」は、着る物としてだけでなく、美術品として美術館に展示されるようになり、映画や雑誌などのメディア上に表現され、イメージとしても流通した。20世紀における「きもの」文化は、従来考えられていたより、はるかに多様な物質性と表象性を持っていたことが確認できた。
- (3) また本研究では、「きもの」をオリエンタリズムだけでなく、コスモポリタニズムやコロニアリズムの文脈からとらえようと試みた。大正期の国内では、西洋対東洋の枠組みではないコスモポリタニズム的な「きもの」が実践されていたし、植民地では植民者の規範的な文化のひとつとして「きもの」が使用されていた。「きもの」のもつ意味は、戦間期、15年戦争期、占領期といった時代の変化につれて変化してきたし、日本かアジアか欧米かといった地域によっても、そして、「きもの」を着たり見たりする、各個人の階層やジェンダーによっても、変化しつづけてきたのである。
- (4) 物質文化としての「きもの」は、近年とくに、アジアで生産され、国内のみならずアジアや欧米で消費されるといった、脱日本化の傾向が強まっている。ところが、それと反比例するかのよう、「きもの」が長く続く「日本の伝統」であるとする誤った考え方もまた、強まってきている。「きもの」が、近代史のなかで大きな変貌をとげたという事実、そして現在、グローバルに生産・流通・消費されているという事実は無視されているのである。

配当決定額

平成 21 年度	1,400,000 円
平成 22 年度	1,200,000 円
平成 23 年度	1,350,000 円
合計	3,950,000 円

研究の目的

日本の「きもの」は 20 世紀に、生産・流通・消費の各段階において、近代化と国際化を達成したと考えられる。これは 19 世紀後半に成立した近代国民国家日本の国際関係の推移を受けたものであり、また、21 世紀である現在の「きもの」文化に連なるものである。本研究は、「きもの」の「モノ」としての物質文化的側面と、テキストやイメージとしての表象文化的側面の双方に着目することにより、20 世紀に「きもの」がいかにして近代化・国際化を達成したのかを、総合的に明らかにすることを目的とする。

なお研究構成員の分担は次のとおりである。テリ・五月・ミルハプトは 20 世紀の「きもの」の実作品と図案を分析することにより、物質文化としての「きもの」文化を研究する。セーラ・フレデリックは日本と米国の文学作品や大衆メディアにおける「きもの」のテキストとイメージを分析することにより、表象文化としての「きもの」文化の研究を担当する。鈴木桂子は海外を意識して作られた輸出品・観光芸術・土産品としての「きもの」と、それから派生して海外で生産・消費された「きもの」の象徴的意味を研究する。そして森理恵は「きもの」着用者の体験や意識、植民地と「内地」における「きもの」のありかたを研究するとともに、各構成員の研究結果を踏まえ、ジェンダー、オリエンタリズム、ナショナリズムの諸理論を活用し、「きもの」文化の近代化・国際化を総合的に考察する。

研究の方法

- (1) 日本の国内外に保管されている、20 世紀の「きもの」実作品とその図案の調査
- (2) 20 世紀の「きもの」が表象されている出版物、映像資料、貿易品等の調査
- (3) 20 世紀に「きもの」の生産・流通・販売にたずさわった人々、および、20 世紀に「きもの」を着用・消費していた人々より情報収集

研究の実施計画

[21 年度]

- (1) 7 月～8 月にかけて東京（文化学園大学図書館、お茶の水図書館ほか）において資料収集、情報収集をおこなう。
- (2) 11 月に関西（個人収集家ほか）において資料収集、情報収集をおこない、共同研究者間で相互に研究発表、および討論をおこなう。
- (3) 2～3 月に米国東海岸（ボストン美術館、ブルックリン美術館、メトロポリタン美術館、フィラデルフィア美術館）において資料収集、情報収集をおこない、共同研究者間で相互に研究

発表、および討論をおこなう。

[22年度]

- (1) 5月～6月にかけて、京都府立図書館、お茶の水図書館、早稲田大学演劇博物館ほかにおいて資料収集、情報収集をおこない、共同研究者間で相互に研究発表、および討論をおこなう。
- (2) 9月に米国・シカゴ（個人収集家ほか）において資料収集、情報収集をおこなう。
- (3) 10月に千葉（国立歴史民俗博物館）、東京（文化学園ファッションリソースセンター）、横浜（個人収集家）、大阪（個人収集家）において資料収集、情報収集をおこない、共同研究者間で相互に研究発表、および討論をおこなう。
- (4) 1月に英国・ロンドン（ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館、大英博物館、ミドルセックス大学ドメスティックデザイン博物館）において資料収集、情報収集をおこない、共同研究者間で相互に研究発表、および討論をおこなう。

[23年度]

- (1) 5月にカナダ・アルバータ大学物質文化研究所主催の国際会議“2011 Conference - Material Culture, Craft & Community: Negotiating Objects Across Time & Place”において研究発表をおこない、各国の研究者と意見交換、情報収集をおこなう。
- (2) 2月に文化学園大学において、文化ファッション研究機構主催のシンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化ー日本化と脱日本化ー」を開催し、国内の研究者と意見交換、情報収集をおこなう。

研究の成果

[21年度]

- (1) 個人収集家（大阪）2009年11月
20世紀の長着、羽織、羽裏、近代の「きもの」に関する絵葉書、雑誌、見本帳あわせて数十点を調査した。
- (2) ボストン美術館 2010年2月
着物4点、打掛4点、振袖3点、襦袢2点、絵葉書・浮世絵あわせて数十点を調査した。
- (3) メトロポリタン美術館 2010年2月
着物1点、色留袖1点、留袖1点、間着2点、打掛2点、長襦袢1点、オーバーコート1点、額1点を調査した。
- (4) ブルックリン美術館 2010年2月
着物、長襦袢、キモノドレス等、数十点を調査した。
- (5) フィラデルフィア美術館 2010年3月
着物7点、帯2点、ドレス2点、キモノコート1点を調査した。
- (6) 上記調査を踏まえ、研究発表、討論の成果

日本国内の「きもの」文化には、明治後期から昭和前半期にかけて、「日本の伝統」といった枠組みとは無関係な自由な展開が見られたことがあらためて確認された。米国東海岸のコレクションには、高級品の「きもの」も見られる一方、西洋への輸出向けと思われる、西洋風の刺繍が使われた「きもの」、襦のついたキモノドレス、中国風との折衷、などさまざまなものが見られ

た。これらについて、西洋の文化が日本の文化から影響を受けた等ととらえるのではなく、日本や米国のさまざまなエージェントが行動した結果の、総体としての「きもの」文化の展開としてとらえる視点が有効であると判断した。

[22 年度]

- (1) お茶の水図書館・京都府立図書館・早稲田大学演劇博物館 2010年5月～6月
「淑女画報」、「婦人倶楽部」、「主婦の友」、「スタイル」、「キモノ読本」、等の雑誌を調査した。
- (2) 個人収集家（シカゴ） 2010年9月
着物2点、図案帳15点を調査した。
- (3) 個人収集家ほか（東京、横浜） 2010年10月
ヴィンテージ・スカジャン、ヴィンテージ・アロハシャツあわせて数十点を調査した。
- (4) 文化ファッションリソースセンターほか（東京、大阪）2010年10月
モスリン見本帳、着物数点、図案帳数点を調査した。
- (5) 国立歴史民俗博物館 2010年10月
倉田家伝来の着物19点、単衣12点、帷子1点、振袖2点、羽織2点、被布3点、コート1点、長襦袢2点、丸帯1点を調査した。
- (6) ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館 2011年1月
着物5点、振袖2点、襦袢1点、キモノガウン1点、舞台衣装1点、見本帳4点、額2点、壁掛け1点、ゆかた見本一括を調査した。
- (7) 大英博物館 2011年1月
着物8点、羽織1点、襦袢6点、版画5点、図案帳5点を調査した。
- (8) ミドルセックス大学ドメスティックデザイン博物館 2011年1月
図案帳2点、カタログ2点、雑誌1点、書籍4点、壁紙一括、型紙一括を調査した。
- (9) 上記調査を踏まえ、研究発表、討論の成果

20世紀の初めから中ごろまでの女性雑誌の調査からは、当時の女性たちにより、コスモポリタンの発想からの自由な「きもの」文化が実践されていたことが確認できた。また、雑誌や文学作品の調査から、植民地において「きもの」は、植民者側から規範的な文化として提示される一方、被植民者側には抵抗や取り込み、戦略的利用など、さまざまな実践が見られることが明らかになった。スカジャンやアロハの調査からは、「きもの」文化の展開の興味深い側面が明らかになった。英国のコレクションの調査からは、「きもの」文化の国際的な生産、流通、消費のありかたと、それによるさまざまな変遷が明らかになった。

[23 年度]

- (1) “2011 Conference - Material Culture, Craft & Community: Negotiating Objects Across Time & Place”
では、共同研究者の各発表に対し、活発な質疑応答、討論が交わされた。とくに、男女双方の着衣であった「きもの」が、20世紀のあいだにしだいに女性化し、女性の身体に関連づけられていく理由や時期について意見を出し合った。また、日中戦争時の日本軍「慰安婦」が「きもの」を着ることを強制された例については、「慰安婦」は実際にどのような「きもの」を着て

いたのか、等の質問があったが、残された資料が証言とわずかな写真であるため、今後の課題であると回答した。

(2) シンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化－日本化と脱日本化－」においても、共同研究者の各発表に対し、コメンテーターからはあらたな問題提起もあり、活発な質疑応答、討論が交わされた。まず発表者の側から、この共同研究が、何らかの「正しい」(規範的な)「きもの」のありかたを前提とするものではないことを説明したうえで、国内と国外での「きもの」のもつ意味の違い、日本で「きもの」が民族衣装として意識されるようになったのはいつか、コスモポリタニズムの視点で「きもの」を考える場合の有効性と限界について、人々が「きもの」を生活のなかで着てきた具体的な経験をどうとらえるか、などについて話し合われた。いずれの問題についても結論を出すまでにはいたらなかったが、今後、研究を深めていくうえで非常に有意義であった。

主な発表論文等

[雑誌論文]

1. Sarah Frederick : “Novels To See/Movies to Read: Photographic Fiction in Japanese Women’s Magazines,” in *Positions: East Asia cultures*, Winter 2010, pp.728-769, (2010).
2. 森理恵 : 「日本植民地期の朝鮮における「きもの」のイメージ－文学・映画などを資料として－」, *国際服飾学会誌*, No.38, pp.21-32, (2010).

[図録]

1. Terry Satsuki Milhaupt : “From Everyday to Extraordinary: Children’s Kimono, Past and Present,” in *Kinderkimonos, Kimonos d’Enfants, Children’s Kimonos: Nakano Kazuko Collection*. Luxembourg: Imprimerie Centrale, SA, (2010).
2. Terry Satsuki Milhaupt : “In the Guise of Tradition: Serizawa Keisuke and his Eclectic Designs,” in *Serizawa: Master of Japanese Textile Design*, edited by Joe Earle. New Haven: Yale University Press and the Japan Society, (2009).

[国際会議発表]

1. Terry Satsuki Milhaupt : “Kimono in the 20th Century: Made Locally, Sold Globally,” in 2011 Conference - Material Culture, Craft & Community:Negotiating Objects Across Time & Place, University of Alberta, 20-21 May 2011
2. Sarah Frederick : “Kimono in the 20th Century: Representation in Japanese and American Women’s Magazines,” in 2011 Conference - Material Culture, Craft & Community:Negotiating Objects Across Time & Place, University of Alberta, 20-21 May 2011
3. Keiko Suzuki : “Kimono in the 20th Century: Selling ‘Japan’ to the West,” in 2011 Conference - Material Culture, Craft & Community:Negotiating Objects Across Time & Place, University of Alberta, 20-21 May 2011
4. Rie Mori : “Kimono in the 20th Century: The Perception of ‘Kimono’ in Japan’s Colonies,” in 2011 Conference - Material Culture, Craft & Community:Negotiating Objects Across Time & Place, University of Alberta, 20-21 May 2011
5. テリ・五月・ミルハプト : 「“Kimono” 今昔 : 国内と国外の観点とその変遷」, シンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化－日本化と脱日本化－」, 文化学園大学, 2012年2月18

日

6. 鈴木桂子：「「キモノ」文化が海外を廻る：輸出品、アロハ、スカジャンの一考察」, シンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化ー日本化と脱日本化ー」, 文化学園大学, 2012年2月18日
7. セーラ・フレデリック：「「キモノ」のコスモポリタニズム：女性雑誌小説を中心に」, シンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化ー日本化と脱日本化ー」, 文化学園大学, 2012年2月18日
8. 森理恵：「「きもの」の近代化と植民地主義」, シンポジウム「20世紀における「きもの」の国際化ー日本化と脱日本化ー」, 文化学園大学, 2012年2月18日

[学会発表]

1. 森理恵：「植民地における「きもの」イメージ」(口頭発表), 国際服飾学会第29回大会, 2010年6月19日
2. 鈴木桂子：“Selling “Japan” to the West: Kimono Culture in the Twentieth Century,” 国際日本学会 (IAJS) 第7回 研究発表大会, 2011年10月29日

[口頭発表]

1. Terry Satsuki Milhaupt：“Making the Foreign Familiar: Serizawa Keisuke's Eclectic Designs,” the Japan Society, New York, 2009.10.
2. 鈴木桂子：「明治浮世絵は海外出兵をどう描いたかージェンダーとエスニシティの視点から考える」, イメージ&ジェンダー研究会, 2010年8月7日
3. 森理恵：「日本統治下の朝鮮における「きもの」の表象～文学、映画、証言から～」, イメージ&ジェンダー研究会, 2010年8月7日

参考文献

1. 横林結、森理恵：「洋裁・洋装の普及と「和服」ー1950年台にける「直線裁ち」の意味ー」, 京都府立大学学術報告生命環境学, No.61, pp.9-17 (2009)
2. 東朋美、森理恵：「日常的着物着用者(女性)の着物着用実践のありかたと着物に対する意識」, 京都府立大学学術報告生命環境学, No.60, pp.1-19 (2008)
3. 森理恵：「「キモノ」の洋装化と民族衣装「キモノ」の成立」, 武庫川女子大学関西文化研究叢書, No.7, pp.96-122 (2008)
4. 森理恵：「キモノの女性化、ファッション化と民族衣装化」, 愛媛県歴史文化博物館展覧会図録『ときめくファッション～小町娘からモダンガールまで～』, pp.114-119 (2006)
5. 森理恵：「「キモノ美人」成立過程についての研究ー「日本美術史(染織史)」の形成と日本画、和装界の動向ー」, イメージ&ジェンダー, No.3, pp.76-95 (2002)
6. Terry Satsuki Milhaupt：“In the Guise of Tradition: Serizawa Keisuke and his Eclectic Designs,” in *Serizawa: Master of Japanese Textile Design*, edited by Joe Earle. New Haven: Yale University Press and the Japan Society, (2009).
7. Terry Satsuki Milhaupt：“Facets of the Kimono: Reflections of Japan’s Modernity (Facetten des Kimono im Spiegel der Moderne),” in *Arts of Japan: The John C. Weber Collection*, edited by Melanie Trede with Julia Meech. Berlin: Museum of East Asian Art, National Museums Berlin, (2006).

8. Terry Satsuki Milhaupt : “Second Hand Silk Kimono Migrating Across Borders,” in *Old Clothes, New Looks: Second Hand Fashion*, edited by Hazel Clark and Alexandra Palmer, Oxford and New York: Berg Publishers, (2005).
9. Sarah Frederick : *Turning Pages: Reading and Writing Women's Magazines in Interwar Japan*. Honolulu: University of Hawai'i Press, (2006).
10. Keiko Suzuki : “The Making of Tōjin: Construction of the Other in Early Modern Japan.” *Asian Folklore Studies*, No.66, pp.83-105, (2007).
11. Keiko Suzuki : *The Tale of Tōjin: Visualizing Others in Japanese Popular Art from Edo to Early Meiji*. UMI (ProQuest), (2007).

II 各 論

